

2018年10月11日

マツダ、車両運動制御技術「G-ベクタリング コントロール プラス(GVC Plus)」を開発

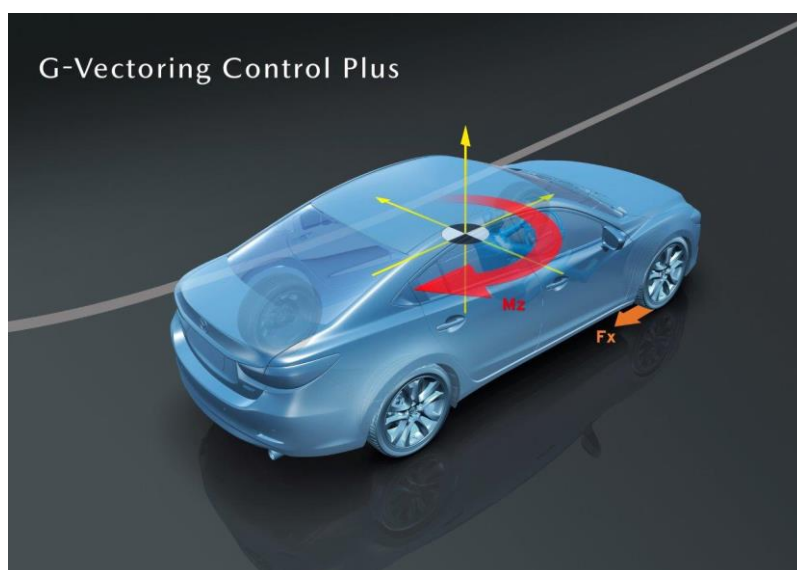
—本日より予約受注を開始する「マツダ CX-5」商品改良モデルから順次搭載—

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、新世代車両運動制御技術「スカイアクティブ ビークル ダイナミクス (SKYACTIV-VEHICLE DYNAMICS)」^{*1} の第二弾として、「G-ベクタリング コントロール プラス (G-Vectoring Control Plus、以下 GVC Plus)」^{*2} を開発しました。本日より日本市場にて予約受注を開始する「マツダ CX-5」商品改良モデルから順次、「GVC Plus」をすべての商品に搭載する予定です。

「SKYACTIV-VEHICLE DYNAMICS」の第一弾である「G-ベクタリング コントロール (G-Vectoring Control、GVC)」は、ドライバーのハンドル操作に応じてエンジンの駆動トルクを変化させることで、車両の横方向と前後方向の加速度(G)を統合的にコントロールし、四輪への接地荷重を最適化してスムーズで効率的な車両挙動を実現する世界初^{*3}の制御技術です。

今回の第二弾となる「GVC Plus」では、新たにブレーキによる車両姿勢安定化制御(直接ヨーモーメント制御)を追加することで、より高い安定化効果を実現しました。旋回中のドライバーのハンドル戻し操作に応じて外輪をわずかに制動し、車両を直進状態へ戻すための復元モーメントを与えることで安定性を向上。ヨー、ロール、ピッチの各回転運動のつながりを高い旋回 G の領域まで一貫させ、素早いハンドル操作に対する車両の追従性を高めるとともに、挙動の収束性を大幅に改善します。これにより、緊急時の危険回避能力を高めるとともに、高速走行時の車線変更や、雪道など滑りやすい路面環境においても、人間にとって制御しやすく、より安心感の高い動きを提供します。

マツダは今後も、日常のあらゆるドライビングシーンを想定し、「人間中心」の開発哲学により、クルマと人の一体感が感じられ、ドライバーも同乗者も安心して乗ることができる「走る歓び」を追求し、お客さまの人生を輝かせ、お客さまとの間に特別な絆を持ったブランドになることを目指してまいります。



「G-ベクタリング コントロール プラス(GVC Plus)」作動イメージ^{*4}

- *1 エンジン、トランスミッション、ボディ、シャシーなど、マツダの SKYACTIV 技術個々のユニットを統合的に制御することで、マツダの提供価値の根幹である「人馬一体」の走行性能を高める新世代車両運動制御技術の総称。
- *2 G-Vectoring Control: 車両の加速度(G)を方向付ける(Vectoring)制御(Control)
- *3 2016年6月現在の量産車として マツダ調べ
- *4 Mz: 復元モーメント、Fx: 制動力

以 上